

13. 理科教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：杉山 了三さん（盛岡第三高校講師・
高教組元組合員）

◎今年の討議の柱

- ①子どもたち・理科教職員はもちろん、それ以外のみなさんも楽しめる理科教育
- ②子どもたちや社会の変化に応じた理科教育
- ③自然や暮らしを守るための科学的な見方を養う理科教育

◎推進委員長

齊藤 暁久（盛岡市立高校）

14. 数学教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：小宮山 晴夫さん（岩手大学）
伊藤 潤一さん
（盛岡白百合学園/高教組元組合員）

共同討議者：小田島 新さん（紫波総合高校）

◎今年の討議の柱

- ①わかって楽しい授業を創ろう！
- ②自然・社会現象にひそむ数学の世界を体験させる実践を。
- ③真の学力向上をめざして！
- ④現行の指導要領のもとでの、新しい授業の実践を

◎分科会アピール

県教研の数学教育分科会は、授業実践の報告はもちろん、教材研究(また、その延長にある発展的な研究も可)、授業で活用した教具の紹介など、幅広い内容で行っています。

日頃の授業の中で、実践したことの紹介と子どもたちの様子を含めたその結果、今後こう実践してみたいのだけど…など、様々な悩みをかかえている方も多いと思います。

少しのことでいいので、それらをまとめて、教研の場で、話してみましよう。参加者の中には同じようなことにとりくんだり、これからとりくもうとしていたり、また、違った方法でアプローチしたという方もいるでしょう。その中での話題が、授業の課題の解決のヒントになり、今後の授業で活かすことができると思います。気兼ねなく、自由に意見を言える場です。発表

者以外でも、積極的に教研に来て、今自分が考えていることを、授業の中で挑戦したこと等、気軽に話してみてください(知り合いの方も誘いましょう)。得られるものは必ずあります。分科会を運営する教研推進委員も、提供できるたくさん話題をもっています(推進委員の方々、よろしくお願ひします)。「こうやってみた」「自分はこうしてみたい」という意見交換ができれば明日の授業へ原動力につながります。共同研究者の方々からも、大変ためになる数学教育の実践報告や話題提供もあります。それらを基に、参加者で学習していく教研の場にしたいと考えています。

◎推進委員長

下河原 英（盛岡第四高校）

15. 外国語教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①「外国語教育」で生徒につけさせたい「学力」とは何か。
- ②「学習指導計画」と「評価」をどう行っているか。
- ③「テスト作題」と「授業」との関わり
- ④中・高連携、高・大連携、校内外連携の実践紹介
- ⑤子どもたちをひきつける「とっておきの技」「ひと工夫」紹介
- ⑥「外国語教育」指導の悩みを出しあおう。
- ⑦「平和教育」「人間教育」をどう行っているか。

◎推進委員長

菊池 博之（黒沢尻工業高校）

16. 技術・職業教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：中西 貴裕さん
（岩手大学情報基盤センター）

◎今年の討議の柱

- ①震災や放射能汚染などの学校現場への影響と課題
- ②専門学科の敷居を越えた職業教育の実践
- ③地域に根ざした職業教育
- ④魅力ある授業実践